

県立土浦第三高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

生徒一人ひとりの個性や能力の伸長を図ると共に、「生きる力」や「豊かな心」を育み、社会に貢献できる人材を育成する。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>探究活動を行う過程で物事の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 特色ある多様な学びの中で、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 一人ひとりの個性や能力に応じて実社会や実生活と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究活動にコミュニケーション活動を取り入れることで、主体的・協働的に活動に取り組み、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>(1) 多様な視点から学問を探究する力</p> <p>(2) 探究した内容を適切にまとめる力</p> <p>(3) 探究した内容を分かりやすく発表できる表現力</p> <p>(4) 他グループの発表を聞き、疑問点に気づき、質問できるコミュニケーション力</p> <p>(5) 探究した内容から得られる専門知識を生かし、実際に行動に移せる実践力</p>	<p>(1) 進路先を決められずにいる生徒に対しては個別指導で対応する。</p> <p>(2) グループディスカッションが苦手な生徒に対して配慮する。</p> <p>(3) 過剰な支援とならないよう、生徒の自立を促す支援を心がける。</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（課題研究：商業に関する学科 3 年）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年 (普) (商)	<p>【探究の型を知る】 基礎と発見</p> <p>身近な生活圏から問いを見出す「課題発見力」の育成に重点を置く。前半は文献調査やマインドマップを用いた思考整理などの基本スキルを習得する。後半はグループ活動を中心に、学校生活や地域に関する小規模な調査・発表を行い、客観的根拠に基づき論理を構築する「探究の型」を学ぶ。この経験を、次年度以降のより広範で複雑な社会課題に対するアプローチの土台とする。</p>	<p>・外部企業による探究の基礎の学習</p> <p>・大学教授・専門家による講演</p>	<p>・日常に問いを立て、情報収集や分析の基礎技法を習得した生徒を目指す。</p> <p>・主観と事実を区別し、他者と協働して未知の事柄を知ろうとする能動的な姿勢を養い、受動的な学習から「自ら学ぶ」形への転換を図る。</p>

<p>2年 (普)</p>	<p>【社会と繋がる】 深化と実践 前年度に習得した技法を応用し、地域社会や外部機関と連携した「社会実装」を目指す。自らフィールドワークやインタビューを企画・実施し、利害関係の調整や多角的な視点からの分析を経験する。現実社会の課題の複雑さに触れることで、既存の知識を統合して新たな価値を創造する力を養う。ここで得た知見と自己の適性を照らし合わせ、次年度の進路に直結した専門的探究へと繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体への提案(地域課題への取り組み等)。 ・NPO や NGO との協働(ボランティア活動やワークショップへの参加等)。 ・地元企業への企画提案(地元の特産品を使った新メニューの企画等)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の関心を社会課題と結びつけ、外部との対話を通じて多角的に考察できる生徒を目指す。 ・現実の複雑さを理解し、客観的根拠に基づき解決策を試行錯誤する実践力を養い、社会に働きかける当事者意識を育む。
<p>3年 (普)</p>	<p>【未来を描く】 統合と進路 3年間の集大成として、自身の志望進路や学問領域に関連した「専門的探究」を遂行する。過去2年の活動で明確になった自身の関心に基づき、高度な論文読解や仮説検証に取り組む。探究の成果を「論文」や「ポートフォリオ」にまとめ、進路実現に向けた強みとして活用する。活動全体を振り返り、大学以降の学びでも不可欠な「未知の課題に対し主体的に最適解を模索する力」を定着させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学研究室訪問(自分の探究テーマに近い学問領域の研究室を訪問し、支援・助言をもらう等)。 ・専門職への現場訪問(医療、教育など志望する職業)の現場を訪問し、現状を確認・評価する等)。 ・校外のイベント参加(自治体主催のフォーラム等)に出場し、専門家から客観的評価を受ける等)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究の成果を進路選択の軸に据え、高度な課題を自力で完遂する生徒を目指す。 ・専門的知識への深化を通じて、自身のキャリアが社会の発展にどう寄与するかを具体的に描き、変化の激しい時代を自律的に歩む姿を確立する。
<p>3年 (商)</p>	<p>【課題研究】 3年間の商業学習の集大成として、財務諸表の作成・分析や商品開発といった専門知識を統合し、実社会のビジネス課題を解決する「実践的探究」を遂行する。自ら商品開発や経営分析の課題を設定し、市場調査や財務情報の活用を通じて、具体的かつ合理的な解決策を導き出す。成果は論文やプレゼンテーションにまとめ、ビジネスの諸活動を主体的・創造的に行う能力を定着させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業との連携(商品開発プロジェクトの実施や、実際の販売データの提供・分析等)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識を統合し、実社会のビジネス課題に対し合理的・創造的な解決策を自律的に導き出せる生徒を目指す。 ・会計情報を活用し、社会に貢献するビジネスの在り方を構想できる「実践的専門家」としての姿を完成させる。